

2015年12月17日
株式会社 リクルートジョブズ



千葉県における既婚女性（主婦）の就業実態・意識調査＜個人編＞ －中小企業の就業者および就業経験者－ 子供あり・非就業者の約7割が柔軟な「勤務日」「時間」で働きたい

株式会社リクルートジョブズ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:柳川昌紀)の調査研究機関「ジョブズリサーチセンター(<http://jbrc.recruitjobs.co.jp/>)」は、＜事業所編＞に続き、「千葉県における既婚女性(主婦)の就業実態・意識調査＜個人編＞」の調査報告書をまとめましたので、ご報告いたします。

※本調査は経済産業省補助事業「平成26年度補正地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」の補助を受けて実施いたしました。

結果概要

【プロフィール】

- 就業者※1の現在の働き方は「パート」が64.8%でもっとも多く、次いで「会社員(管理職以外の正社員)」が23.0%であった。(報告書P7)
- 学校卒業後に初めて就いた仕事の働き方は、「正社員・正職員」が76.0%であった。現在、非就業者※2でも73.3%の人は、正社員・正職員として働いた経験をもっている。(報告書P8)

【第1章 仕事に対する意識】

- 理想的な働き方をするために勤務先に求めることは、「自宅から通勤できる範囲での配属の考慮」が70.7%にのぼり、もっとも多かった。次いで「学校行事による早退、通院など本人の休日希望にあわせた勤務体系」が55.6%で、なかでも子供ありの非就業者は67.7%と、特に柔軟な「勤務日」や「時間」を求めていることがわかった。(報告書P15)

【第2章 非就業者の仕事探しの状況】

- 非就業者で最近1年間に仕事探しをした人における仕事探しのきっかけは、「お金が必要になったから」が57.5%でもっとも多く、「時間に余裕があるから」38.7%、「子育てが落ち着いてきたから」26.5%と続く。(報告書P20)

【第3章 仕事の理想と現在】

- 現在の始業時間は、理想に比べると8時台が多く、9時以降が少ない。一方、現在の終業時間は、理想に比べ18時や19時以降が多い。1日あたりの就業時間についてみると、理想は「5時間程度」の27.1%がもっとも多いが、現在は「8時間程度」働いている人が25.2%と最も多い。(報告書P35～P40)

参照: 調査報告書 http://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20151217_316.html

調査概要

調査目的	千葉県の既婚女性(主婦)の就業実態や意識を把握すること
調査方法	インターネット調査(調査会社:株式会社インテージ)
調査期間	2015年6月5日(金)～6月9日(火)
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県在住の20～59歳女性、既婚あるいはシングルマザー ・現在就業者あるいは就業意欲のある非就業者 <small>※1: 就業者: 従業員規模が300人未満の事業所・企業に勤務する正社員・契約社員・派遣社員・アルバイト・パート ※2: 非就業者: 直近の勤務先が従業員規模300人未満の事業所・企業である、現在、専業主婦・無職者</small>
有効回答数	1,188人(回収率60.1%)

【本件に関するお問い合わせ先】
<http://www.recruitjobs.co.jp/RJB/contact.html>